



すずかけの木

学校教育目標

- こころの豊かな子
- すすんで学ぶ子
- たくましい子

地域の負託に応える

校長 たかの あきひと 高野 明人

今頃の季節を二十四節季では芒種といいイネやムギなどの芒(のぎ)のある作物の種を播(ま)く時期を表します。そういえば、学区内でも黄色く実った麦が収穫され田植えの準備が整った様子を見ることができます。個人的にはゴールデンウィークに田植えを終えてしまう早場米の単作地帯に勤務することが多かったため、とても景色が新鮮です。

その中で、ここ2年間本校では5年生が行う授業での米作り(田植えと稲刈り)が諸般の事情でできませんでした。コロナ禍にも慣れてきたところで今年は何かできないか模索していたところ、前隣保館館長の村田様の御指導の下に「行田在来青大豆」の栽培を行うことになりました。幸いにも学校の南側の土地をお借りすることもできました。すべて小学校のことを大切に思ってください地域のみなさんのおかげです。種まきは7月の初旬で今年は大豆というより枝豆の収穫を目指します。今ではあたりまえのようにこのような体験学習が行われていますが、それを可能にするのは地域の支えと学校のやる気だと確信しています。皆様の負託に応えるべく、実りのある体験学習を行い、こころの豊かなすすんで学ぶ子を育みます。



言語環境を整える

天候の心配された運動会ですが、無事に先月の28日(土)に実施されました。今年も短縮版になり、3年生以下は本来の運動会を知りません。来年こそは完全実施したいものです。総括すると、1年生の初々しさと6年生の安定感が大いに光っていました。今年の6年生も頼りにしている児童ばかりです。普段の朝マラソンも全力で走る児童ばかりで、たくましい子の見本です。

さて、毎日のように校長室に、今月の暗唱合格のために児童がやってきます。一人一人の暗唱を時には手助けしながら、頷きながら、身振り手振りでも反応しながら合格シールをあげています。このように、児童全員と触れ合うことが幸せであることは以前も触れました。そこで、まるでお話を語りかけるように抑揚をつけながら詩を語る低学年児童がいます。残念ながら一人だけですが、「きっとお家で保護者の方が読み聞かせを気持ちを入れて抑揚をつけながらやったださっているんでいしょうね。ありがたいですね。」こんな会話がされています。いいですね。

逆も然り、これは我々教員の責任です。言葉遣いなどは特に注意しなくてはなりません。現行学習指導要領では児童の言語能力の育成を図ることを重点としています。そのために、児童を取り巻く言語環境を整えることが必要と謳っています。教師は正しい言葉で話し、正確な字を書くこと、、、(略) もちろん、学校外での言語環境を整えるために、学校と家庭・地域の協働をよろしくお願いいたします。言葉とこころのきれいな子を育みましょう。

topics(とぴくす)

◎小中合同資源回収が6月4日(土)にあります。ご協力願います。

◎小中合同引き渡し訓練は6月7日(火)です。

◎学校HPへのアクセスQRコードを今回も載せました。下校時間の確認や学校生活の様子を見ることができます。

